

中央値補正法

本学の個別学力試験では、選択科目間の問題難易差における不公平をなくすため、「中央値補正法」により試験日・学部・選択科目ごとに得点調整を行っています。ただし、産業理工学部・短期大学部については、得点調整を行いません。また、合否判定については、試験日ごとに行います。

「中央値補正法」とは、各科目の真ん中の順位の人の点数を50点に置き換え、他の方の点数を調整する方法です。1001人受験した場合は、真ん中の501番目の人の点数が50点に置き換えられます。

席次	素点			補正点	
	日本史 100点	数学 100点		日本史 100点	数学 100点
1	100	100		100	100
2	95	70		91.7	72.7
3	85	60		75.0	63.6
4	80	55	▶	66.7	59.1
5	75	50		58.3	54.5
6	70	45		50	50
7	65	40		46.4	44.4
8	60	35	▶	42.9	38.9
9	55	30		39.3	33.3
10	50	25		35.7	27.8
11	0	0		0	0
平均点	66.8	46.4		55.1	49.5

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。

平均点を見れば、選択科目による有利不利が少なくなったことが分かります。

中央値補正法の計算式

- ① 素点 < 中央値の時

$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

- ② 素点 ≥ 中央値の時

$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点} - \text{中央値}} \times (\text{素点} - \text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$$

上の表は「日本史」が簡単で、「数学」が難しい例です。ここで選択問題によって有利不利にならないよう、「中央値補正法」で得点を再計算します。成績順の中央に位置する席次6番目の生徒が50点です。100点と0点は素点のままです。他は、上の数式をあてはめ、補正点を算出します。